

事務所ニュース

労働保険事務組合
第一労務協会

京都市西京区嵐山宮ノ北町8番18
TEL. (075) 864-3336
FAX. (075) 864-3367

〒616-0025

社会保険労務士 光木事務所

スポット

工夫・創造の余地は無限に 「技術立国」として復権目指せ

日本列島は、ひところ、小惑星探査機「はやぶさ」の話題でもちぎりでした。感動のニュースの大量報道にいささか食傷気味の方もいらっしゃるかもしれませんが、興味深いエピソードをひとつ、ダメ押しで紹介させていただきます。

はやぶさが地球を出発したのは2003年、奇しくもこの年は、永遠の名作アニメ「鉄腕アトム」で、アトムが誕生した年（公式設定）とされています。広くみんなに愛された正義のヒーローも、第1回アニメ版では、「地球を救うために太陽の活動を抑えるロケットを抱え太陽に突入する」という形で最期を迎えました。

地球へ帰ってきた「はやぶさ」も、最後は大気圏に突入し、燃え尽きました。テレビでは花火のように輝く美しい映像が放映されましたが、感情移入しすぎて涙を流したファンも大勢いたと聞きます。

はやぶさとアトム、この2つの「けなげな」人工知能には、始まりと終わりで相通じるものがありました。機械を擬人化すべきではないといいますが、その自己犠牲の姿には心を揺さぶるものがありました。しかし、機械製造のノウハウは100%残っているわけだし、探査機本体が戻ってきて宇宙博物館に陳列するほか使い道がありません。成功裏に帰還したという事実は、予算配分

問題に大きなインパクトを与え、今後の宇宙開発に金銭面でも弾みをつけました。それだけで十分といえるでしょう。

低予算を技術と熱意とチームワークで克服するというプロセスに、ある年齢階層以上の人たちは、日本が高度成長を享受した時代を重ね合わせ、熱狂しました。勤勉さと粘り強さは、日本人のDNAに今でも深く刷りこまれていようです。

参議院選の時期で、政治向きの話に深入りするべきではないでしょう。しかし、「たちあがれ『技術立国日本』」というスローガンなら、きつと大向こうの喝さいを博するに違いありません。

2010

8

人事評価の基本

知って得する



賃金実務

公正な賃金配分の土台になるのは、正確な評価制度です。日本企業では、成績・情意・能力の3方面から評価を実施する企業が多数派です。しかし、採用段階では、年齢・学歴・職歴等も重要な判断要素として用いたはずで、評価要素は前記3種類で、必要にして、かつ十分なのでしょうか。

日常生活の中では、「年が若い

のに、よく気が付く」「有名大学出身の割には、頭が悪い」などといった表現をよく使います。評価要素の中に、実は年齢や学歴といった要素が入り込んでいます。

評価制度が未整備な零細企業では、密室の中で、やはり同じような感覚で査定が実施されています。しかし、公正・客観的な評価を実施する際には、年齢・学歴といった要素を頭の中から払拭する必要があります。あるといわれています。

職能給制度のスタンダードな理論に基づけば、評価は成績・情意・能力の3方面から評価します。他

の要素を捨象できるのは、次のような理解に基づくからです。

企業が求人する際には、年齢・

同一等級内で比較を 属人評価は徹底排除

学歴・職歴・資格等の条件を列挙します。本来的にいえば、「職務を遂行するために必要とされる適性、能力、経験、技能の程度を明示」(雇用対策法施行規則第1条の3第2項)できれば、それが一番です。

しかし、企業が求める能力レベルを具体的にイメージできるような表現するのは、容易ではありません。そこで、このくらいの年齢・学歴・職歴の人なら、大体、当社の要求を満たすだろうという予測の下に、求人条件を設定するので、かつては性別(男女)も重要な要件でしたが、現在、それを基準にするのは均等法違反です。

履歴書を持参した求職者と面談し、さらに具体的な情報を得たうえで、採用の是非を決定します。

学歴・職歴といった要素が大きな意味を持っています。

しかし、いったん、資格等級が決まった後は、年齢・職歴・学歴というラベルは剥がされてしまいます。「40歳を過ぎて、このレベルの仕事しかできない」「理系出身なのに、パソコンの知識に乏しい」、そういった目で人を見るのはご法度です。

入社1年目だろうが、20年目のベテランだろうが、同じ資格等級3級なら3級の評価基準に照らして、上位にあるか、下位に位置するか、「虚心」に判断しなければいけません。

高い学歴・立派な職歴を持った人は、入社すぐの段階では高い資格等級に仮格付けされます。しかし、実際に働いてみて、能力がなければ、速やかに格付けが下げられます。以後は、「学歴・職歴等はきれいに忘れ去って、その等級の標準レベルと比較してよいか悪いか判断する」、これが公正な評価制度の基本思想です。